

いなわしろまち  
猪苗代町

本町は東北地方の南端を占める福島県の中央、東経104° 06′ 北緯37° 33′ の線上に位置する農業と観光の町です。また会津地方の東部にあって中通り地方と隣接していることから、古くより交通の要衝、文化の接点として重要な役割を果たしてきた地域です。

人口は18,634人(平成9年12月1日)を数え、広さは東西17.6km 南北27.4kmと南北に長く、総面積は346.59km<sup>2</sup>を誇ります。標高は514~1,975mと比高差があり、高冷地のため平均気温は9.9℃と低く、年間降水量の多い豪雪地帯に属しています。町制の経緯については、明治二十二年の町村制実施に伴う編成区域で成立した旧猪苗代町と翁島・千里・月輪・長瀬・吾妻の各村が昭和30年に合併して今日に至っています。



ぼんだいさん  
1 磐梯山

万葉の昔から和歌に登場する磐梯山は、会津地方を代表する山の一つです。標高1,819mを計る活火山で、過去度々噴火活動をくり返しており、特に明治二十一年(1888)には、小磐梯を吹き飛ばす大爆発を起こし、死者477名を出す大災害を及ぼしました。この爆発によって裏磐梯には300を越す湖沼ができました。

現在山麓にはスキー場や宿泊施設が数多く建てられ、四季を通じ観光地として賑わいをみせています。

「会津嶺の国をさ遠み逢はなはは 偲ひにせもと紐結はさね」  
「枝折してゆかましものを会津山 入よりまとふ道としりせは」

